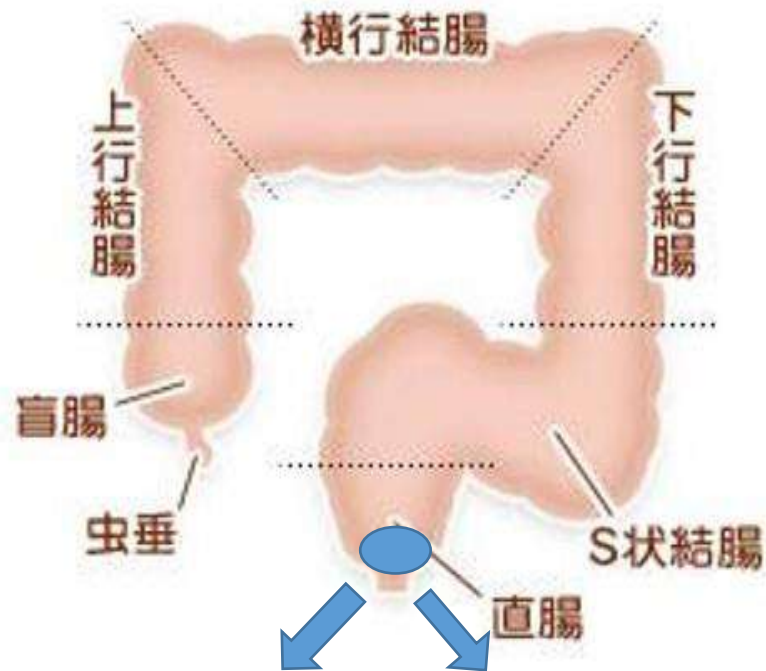


症例 1 直腸早期がん

慢性下痢、腹部不快感のため、大腸内視鏡検査を施行。

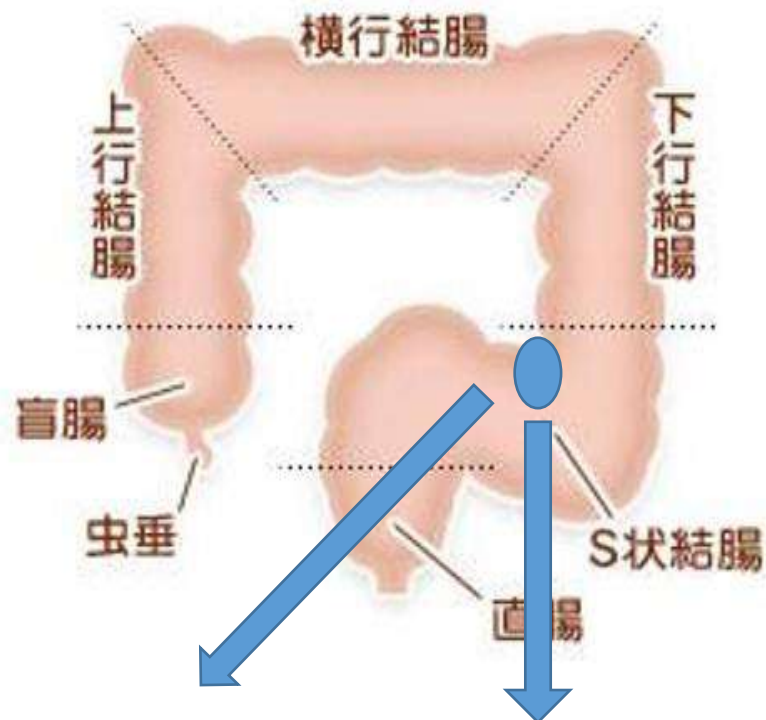
直腸に、3cm 大の平坦+隆起性病変(0-IIa+I)を認め、病理検査で早期大腸がんでした。総合病院に紹介し、経肛門的切除で完治。



症例 2 S 状結腸早期がん（陥凹型）

貧血、便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

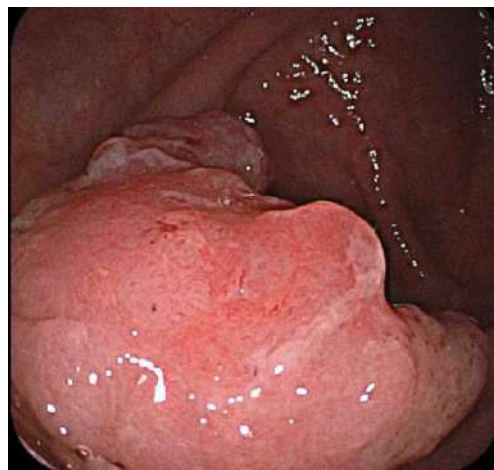
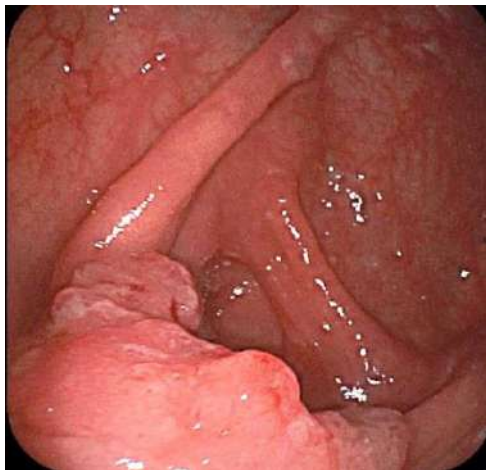
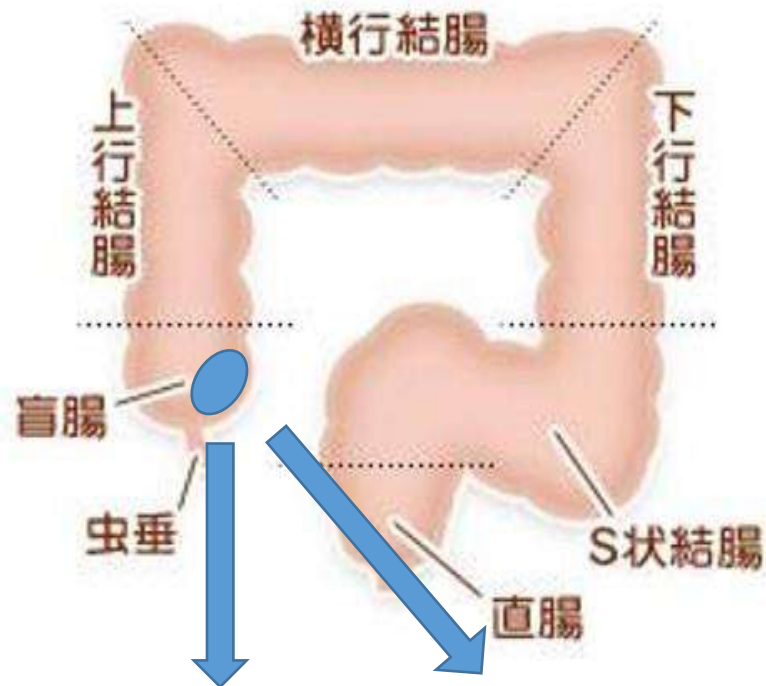
S 状結腸に、2cm 大の陥凹性病変(0-IIc)を認め、病理検査で高分化管状腺がんでした。総合病院に紹介し、手術で完治。リンパ節転移なし。



症例 3 回盲部進行がん

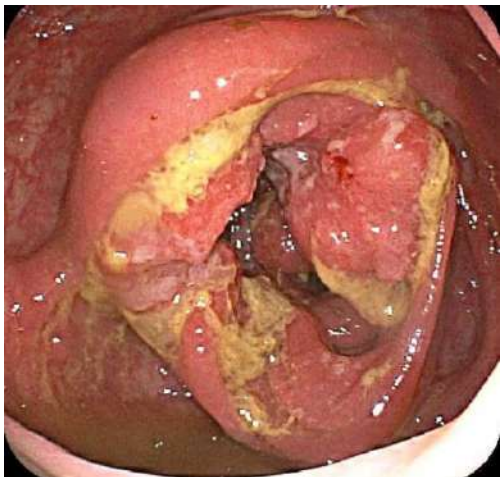
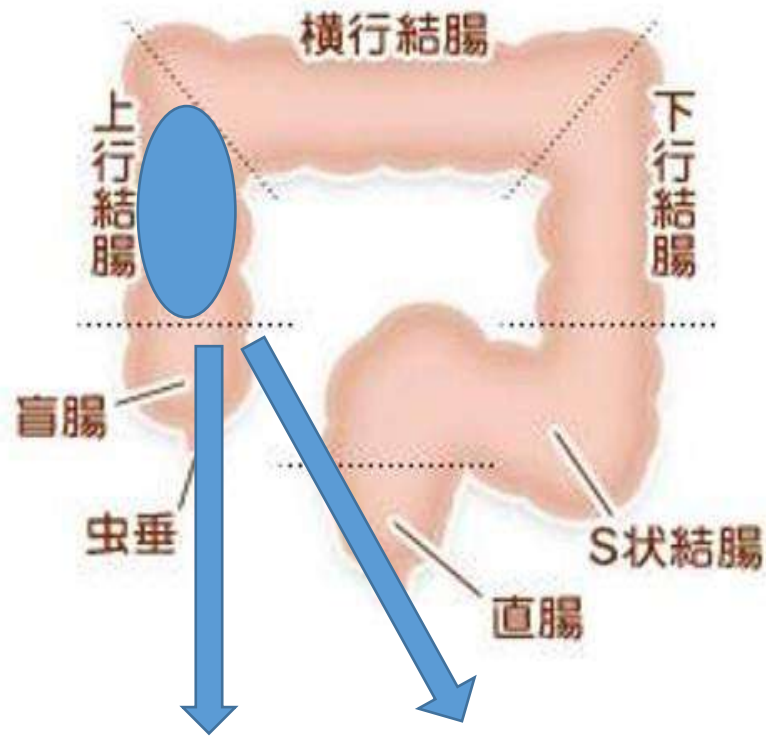
便秘がち、便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

回盲部に、2cm 大の隆起性病変(2型進行がん)を認め、病理検査で中分化管状腺がんでした。総合病院に紹介し、手術で完治。リンパ節転移、遠隔転移なし。



症例 4 上行結腸進行がん

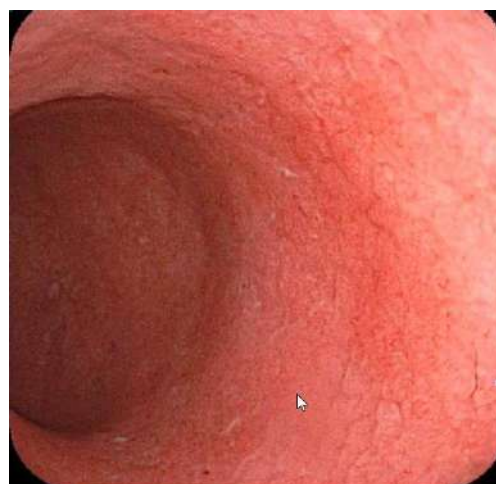
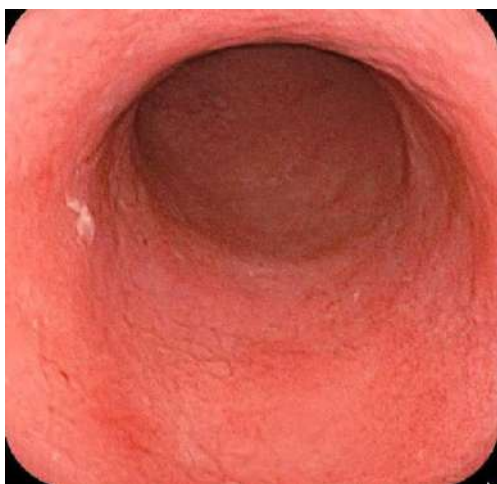
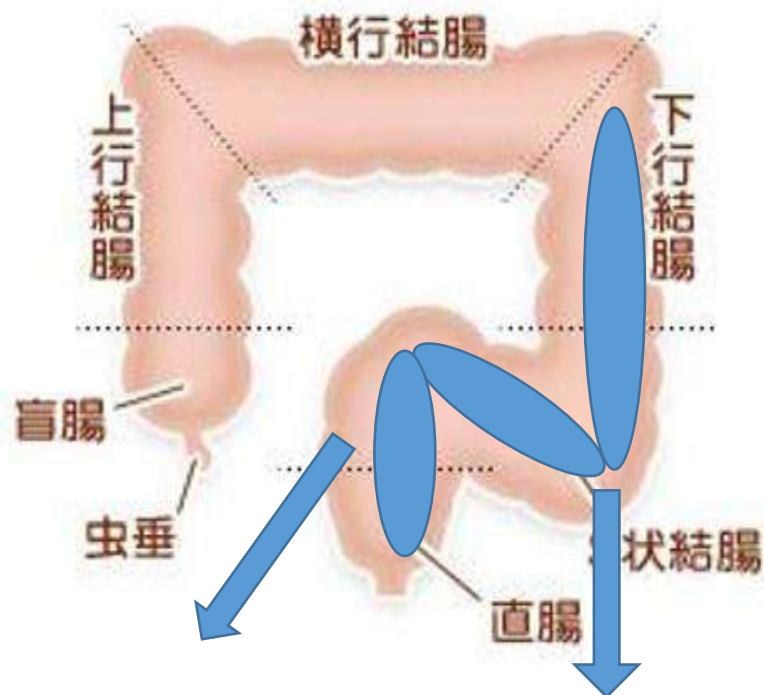
便秘、腹部膨満感が持続、便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。
上行結腸に、6cm 大の隆起性病変(2型進行がん)を認め、病理検査で高分化管状腺がんでした。総合病院に紹介し、手術で完治。リンパ節転移、遠隔転移なし。



症例 5 潰瘍性大腸炎（左側大腸炎型）

下血、下痢を繰り返すため、大腸内視鏡検査を施行。

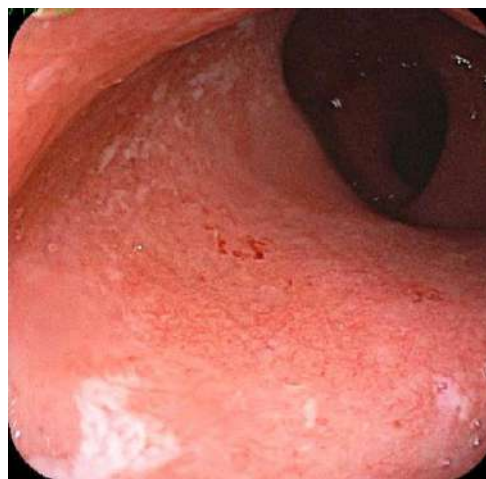
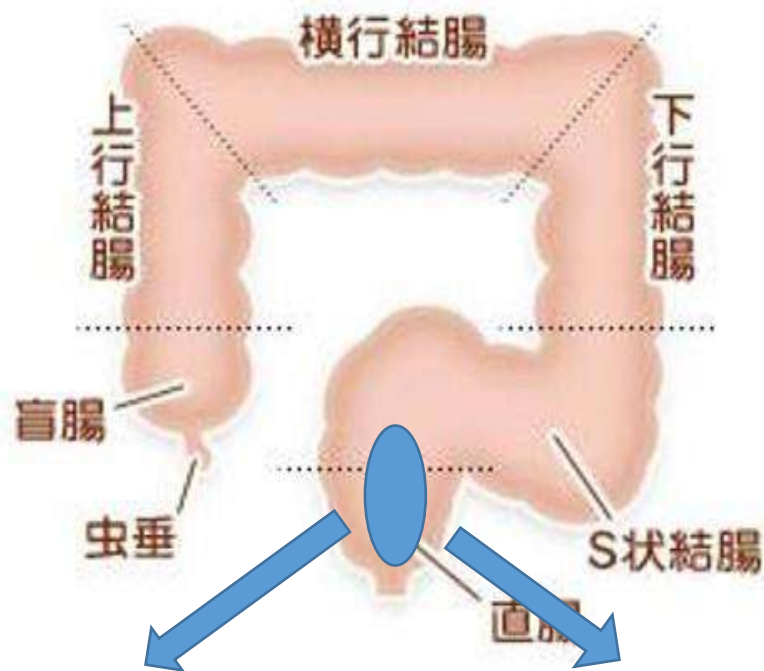
直腸～下行結腸にかけて、易出血性、びらん、粗造粒状粘膜あり。病理検査で、びらん、び慢性炎症細胞浸潤、陰窩膿瘍、杯細胞の消失所見有、潰瘍性大腸炎に合致する所見でした。5-ASA 製剤、ステロイド治療を施行し、緩解期に改善。



症例 6 潰瘍性大腸炎（直腸炎型）

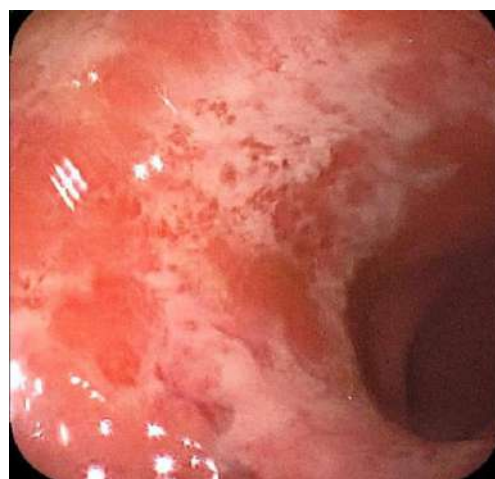
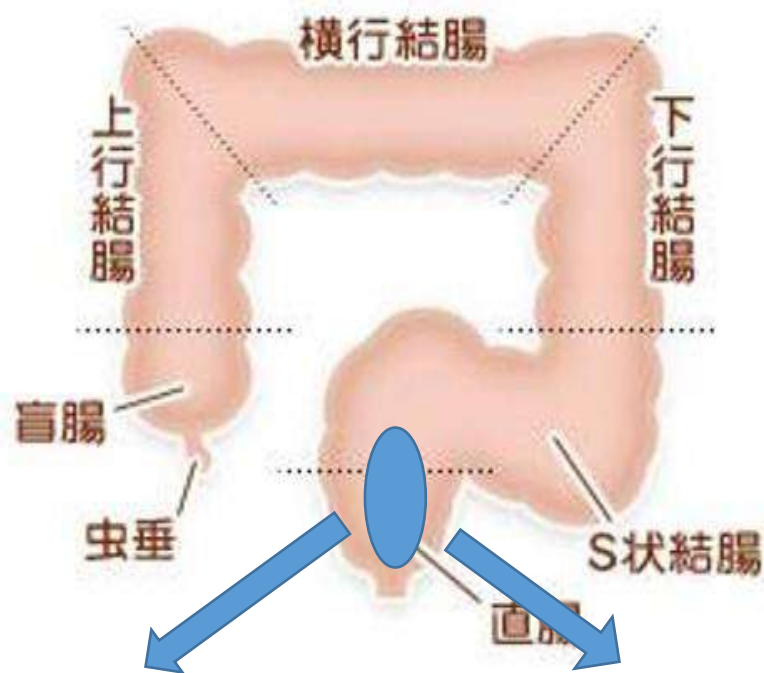
下血を繰り返すため、大腸内視鏡検査を施行。

直腸に、易出血性、びらん、血管透見消失、粗造粘膜あり。病理検査で、びらん、び慢性炎症細胞浸潤、陰窩膿瘍、杯細胞の消失所見有、潰瘍性大腸炎に合致する所見でした。5-ASA 製剤治療を施行し、緩解期に改善。



症例 7 潰瘍性大腸炎再燃例（直腸炎型）

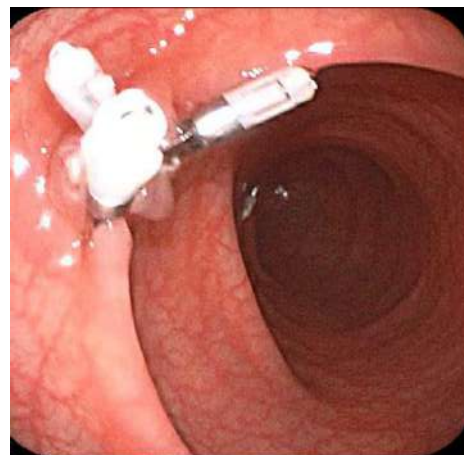
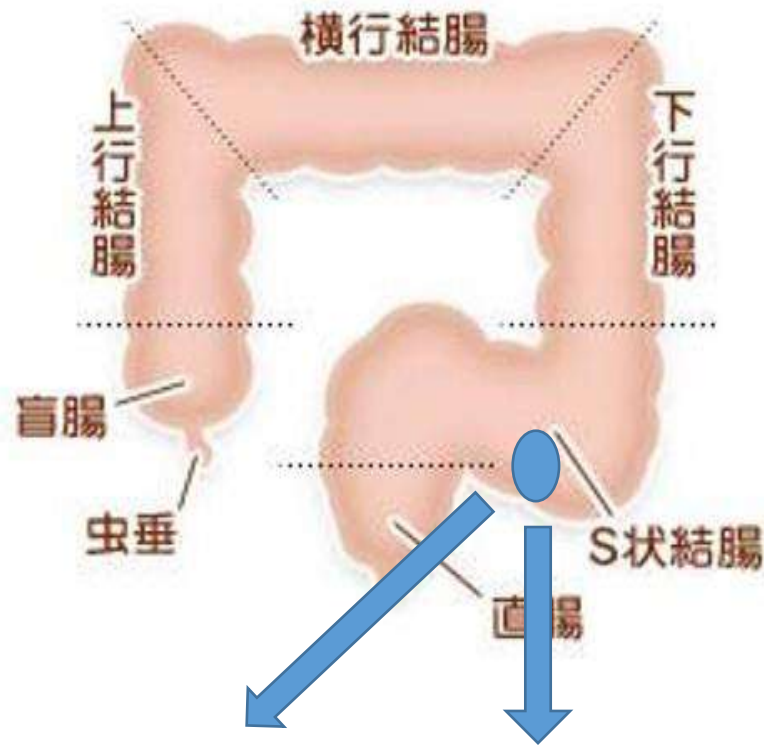
潰瘍性大腸炎で治療中、下血を繰り返すようになり、大腸内視鏡検査を施行。直腸に、易出血性、びらん、血管透見消失、粗造粘膜あり。病理検査で、びらん、び慢性炎症細胞浸潤、陰窩膿瘍、杯細胞の消失所見有、潰瘍性大腸炎再燃に合致する所見でした。5-ASA 製剤、ステロイド治療を施行し、緩解期に改善。



症例 8 S 状結腸の鋸歯状腺腫 (serrated adenoma)

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

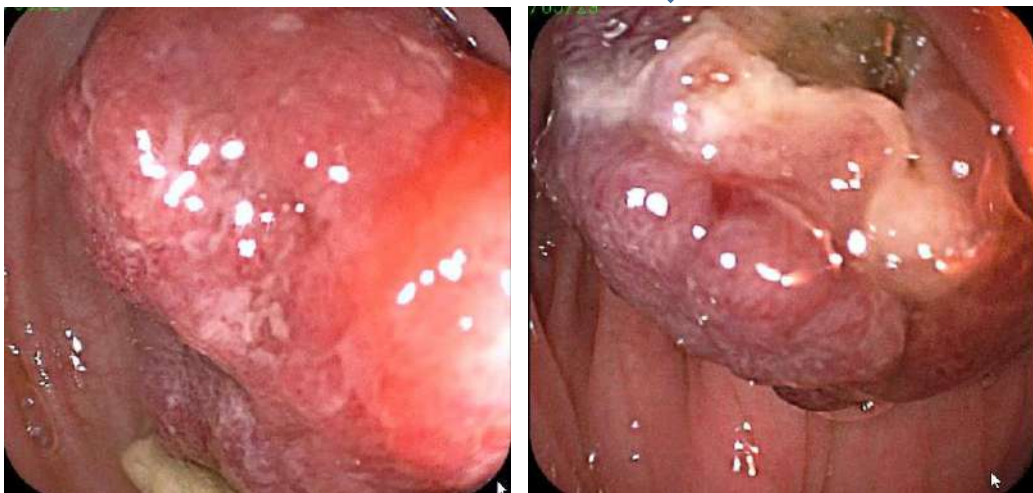
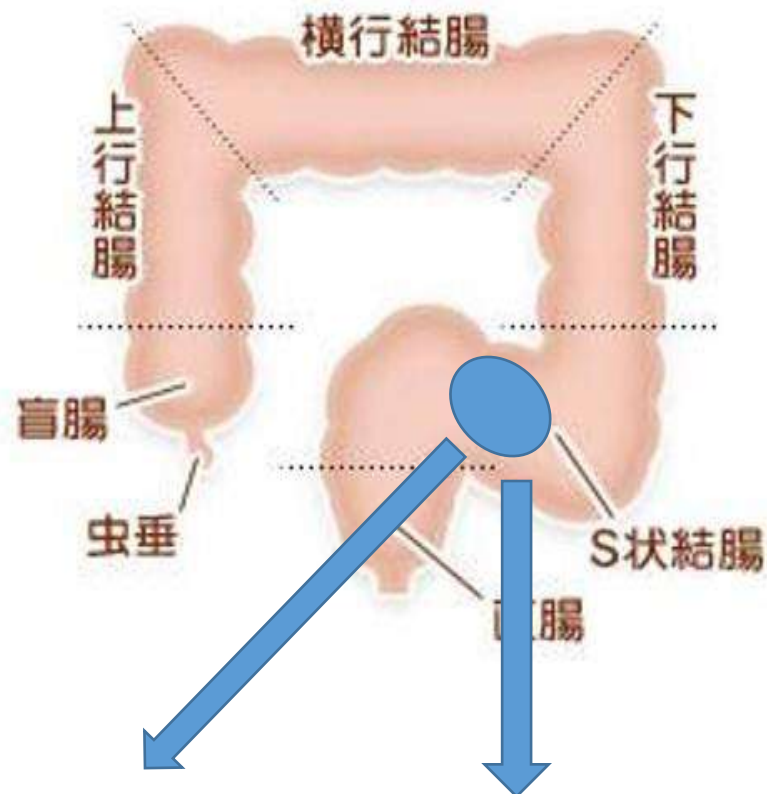
S 状結腸に、1cm 大の亜有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、低異型度の鋸歯状腺腫 (serrated adenoma) でした。断端陰性で完治。



症例 9 S状結腸の管状絨毛腺腫（高異型度）

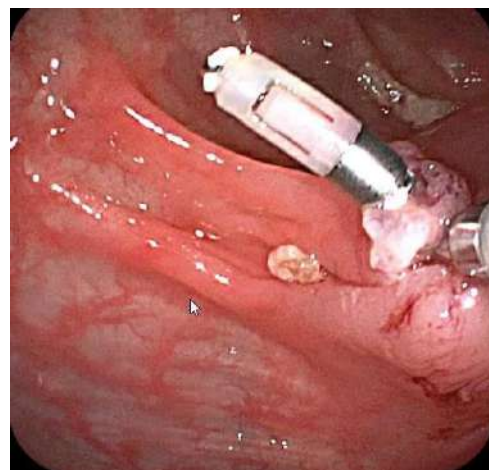
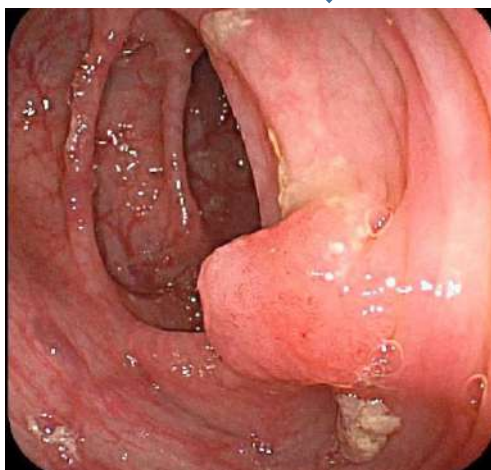
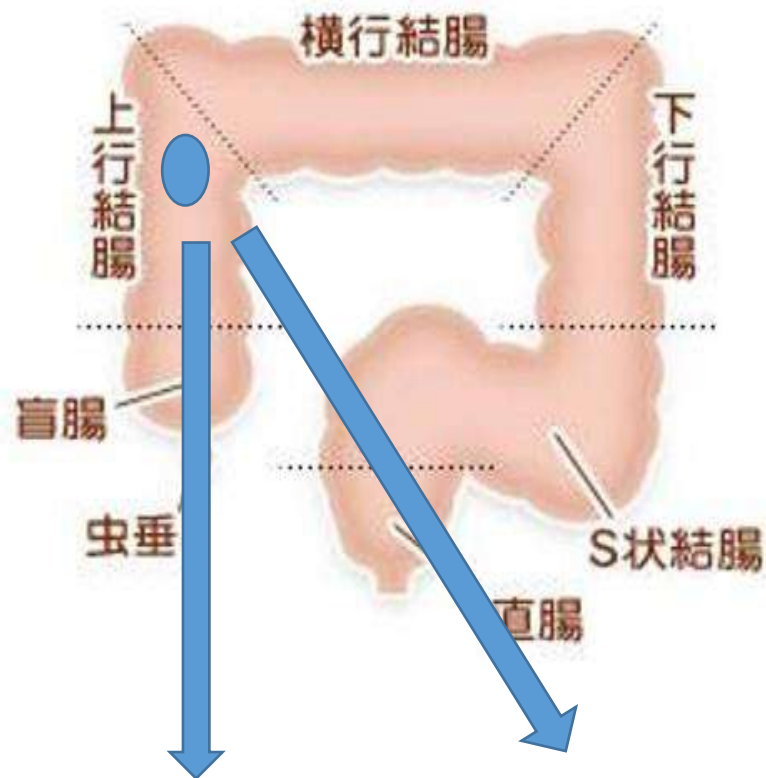
腫瘍マーカーCEA 高値のため大腸内視鏡検査を施行。

S状結腸に、2cm 大の有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、高異型度の管状絨毛腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 10 上行結腸の管状絨毛腺腫（高異型度）

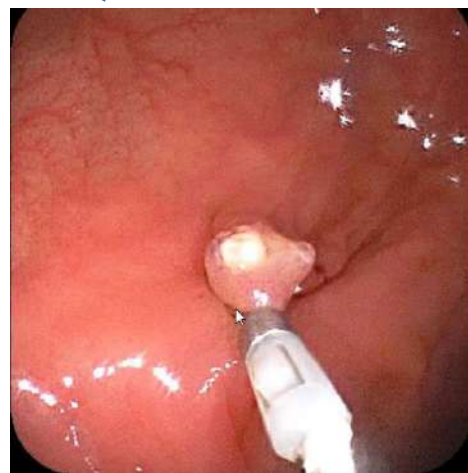
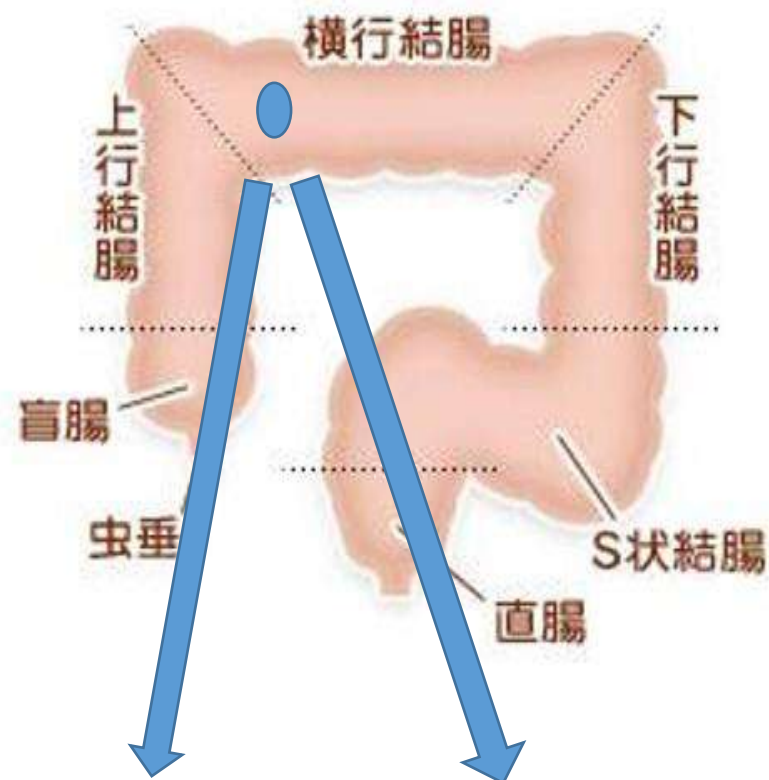
大腸ポリープ切除の既往があり、定期検査のため大腸内視鏡検査を施行。
上状結腸に、1cm 大の垂有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、高異型度の管状絨毛腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 11 横行結腸の管状腺腫（低異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

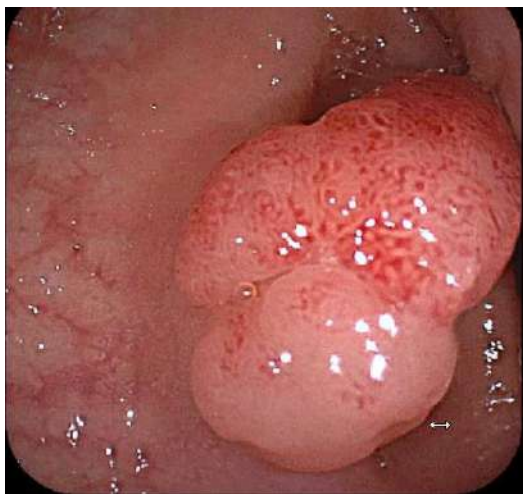
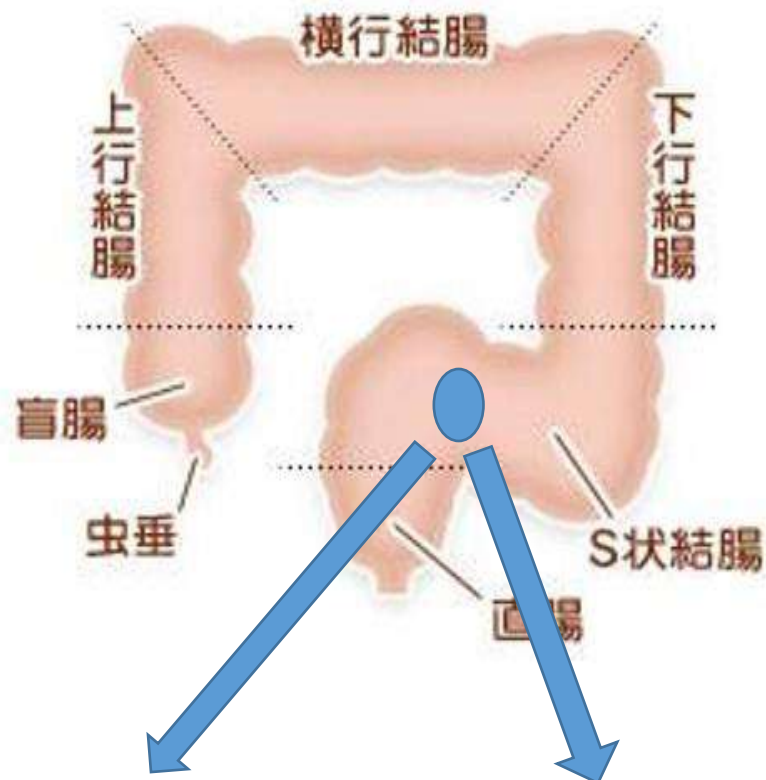
横行結腸に、7mm 大の亜有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、低異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 12 S 状結腸の管状絨毛腺腫（高異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

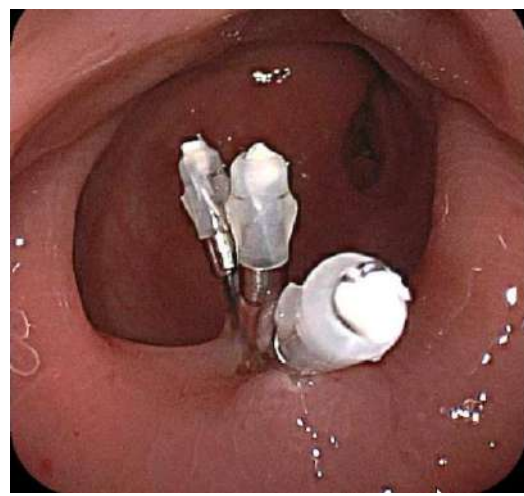
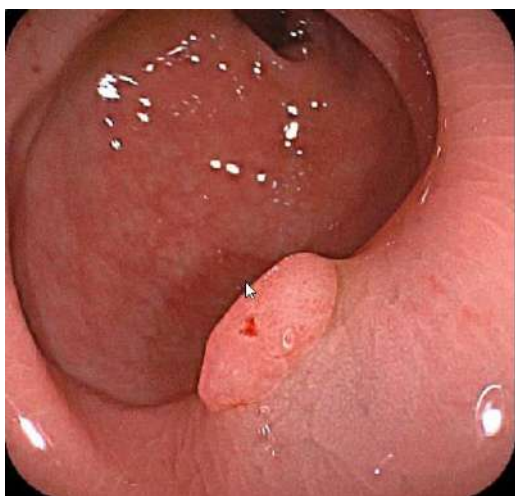
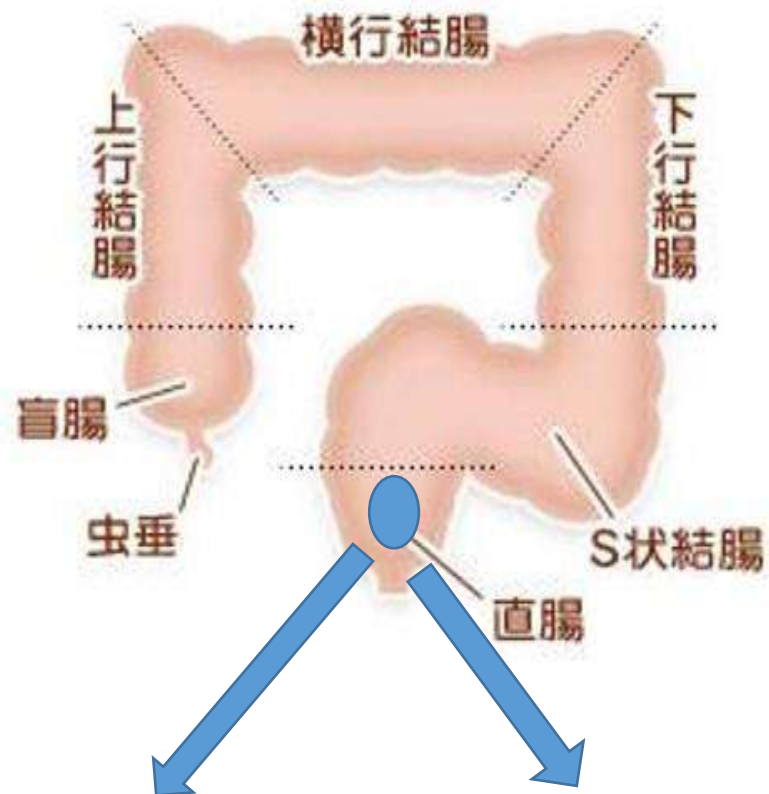
横行結腸に、1.5cm 大の垂有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、高異型度の管状絨毛腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 13 直腸の管状腺腫（低異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

直腸に、1cm 大のポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、低異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。

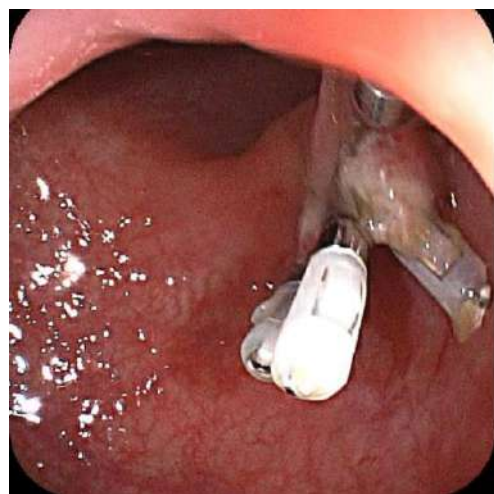
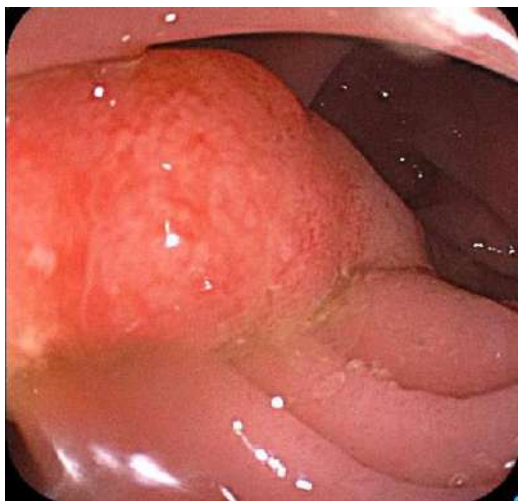
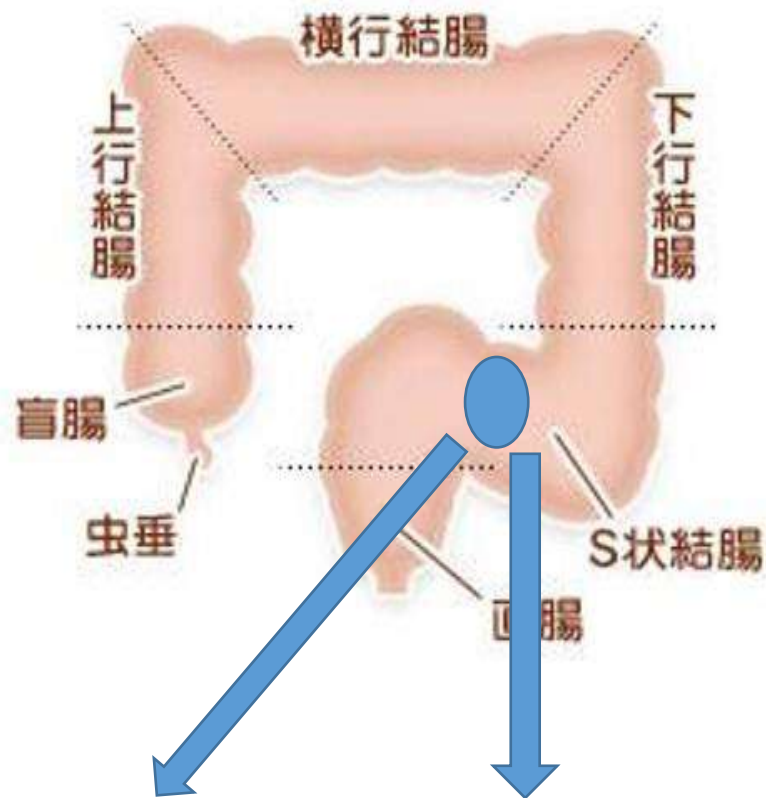


症例 14 S 状結腸の管状腺腫（高異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

直腸に、2cm 大の有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。

病理所見では、高異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。

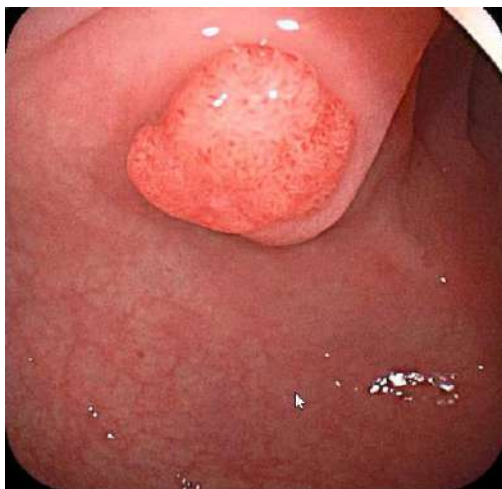
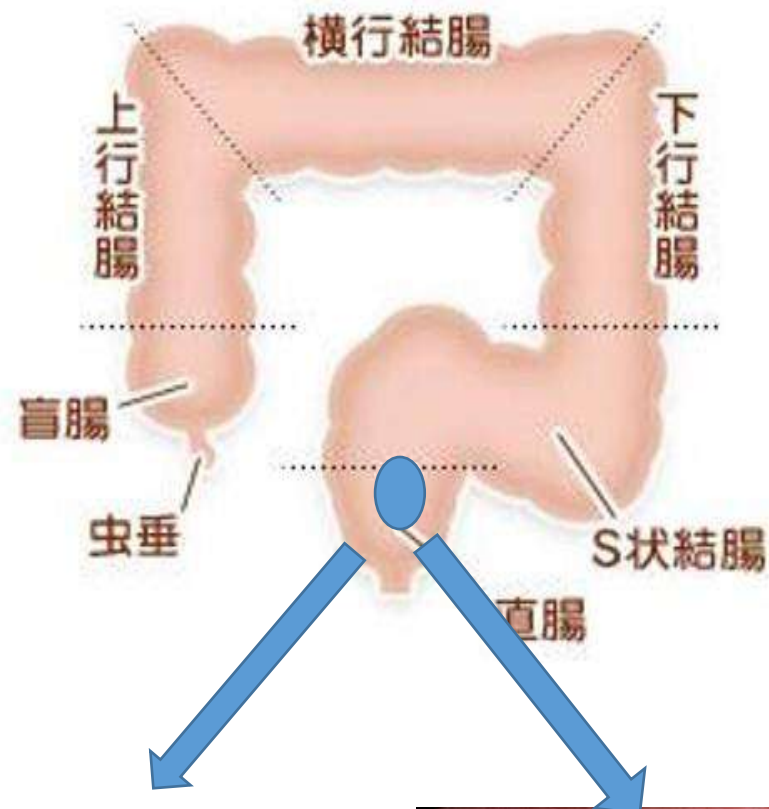


症例 15 直腸の管状腺腫（高異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

直腸に、1cm 大の有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。

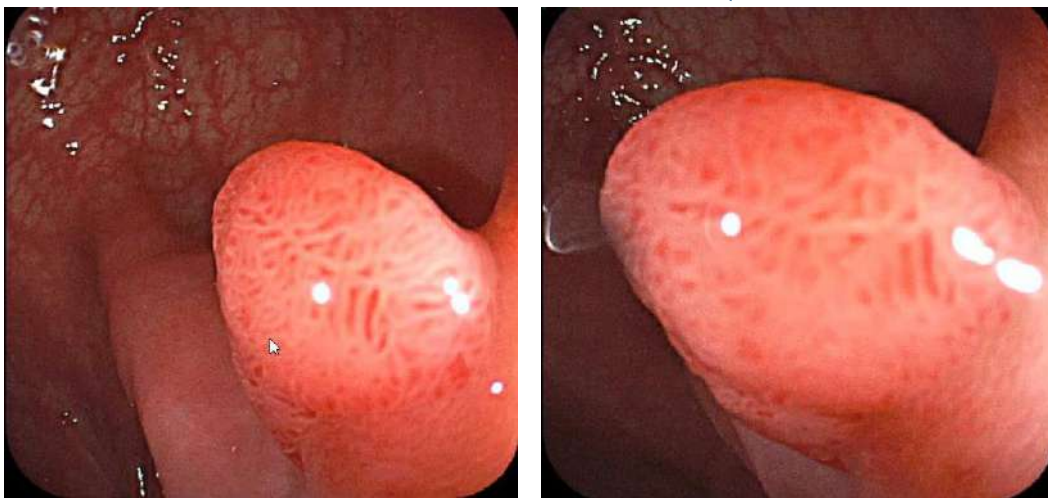
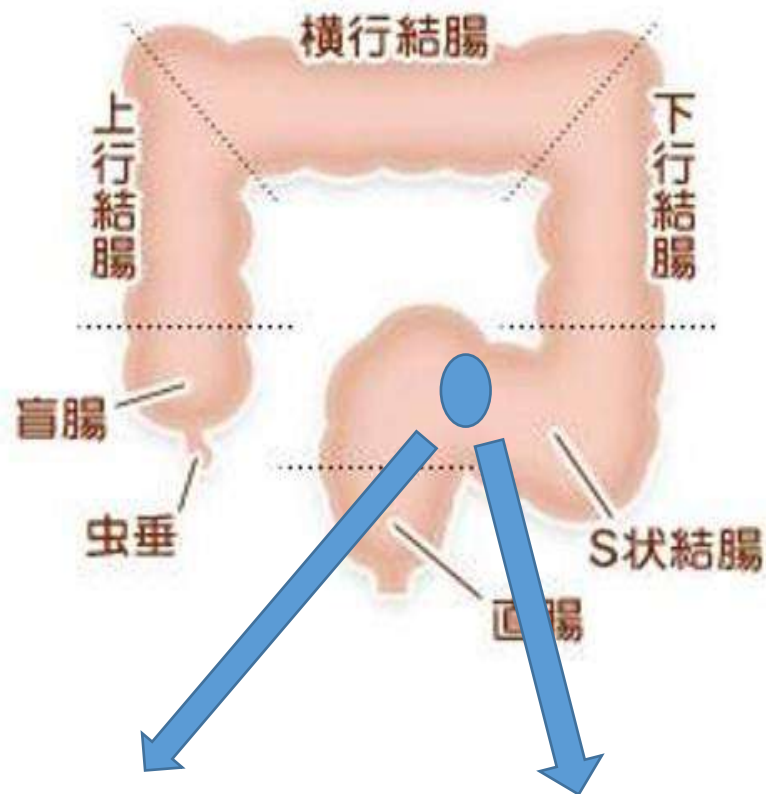
病理所見では、高異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 16 S 状結腸の管状腺腫（高異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

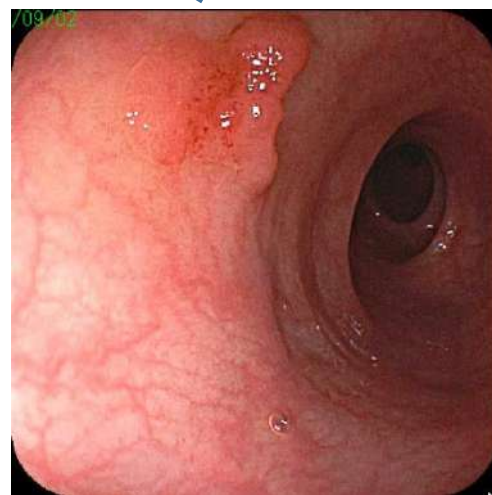
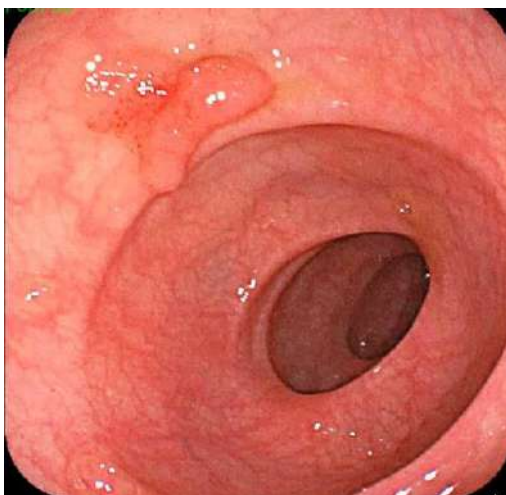
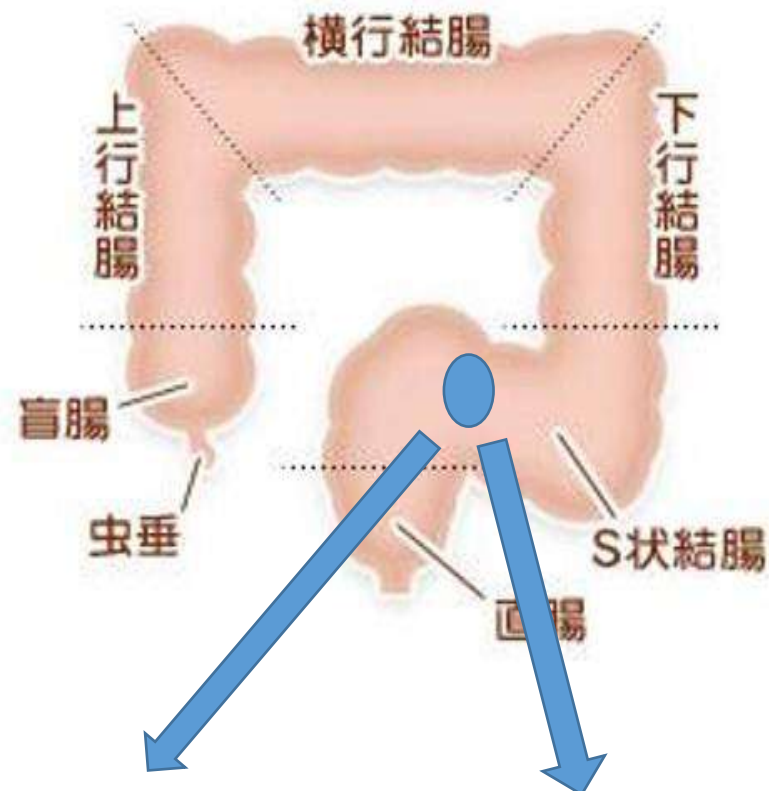
直腸に、1cm 大のポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、高異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 17 S 状結腸の管状腺腫（高異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

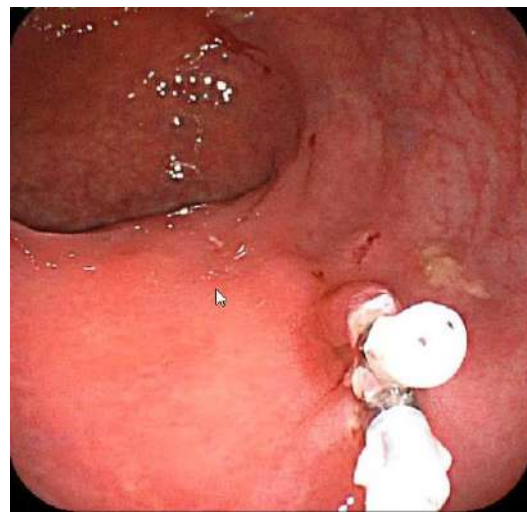
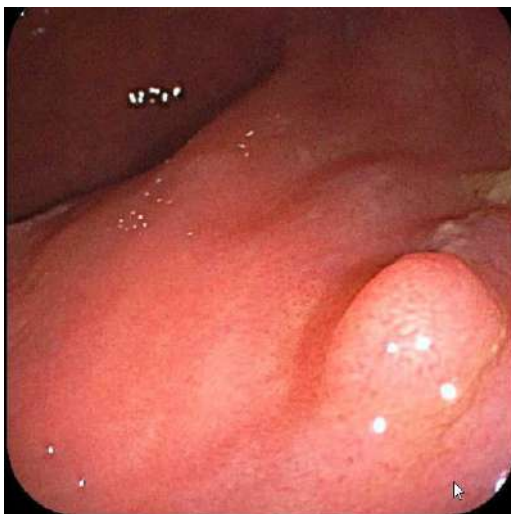
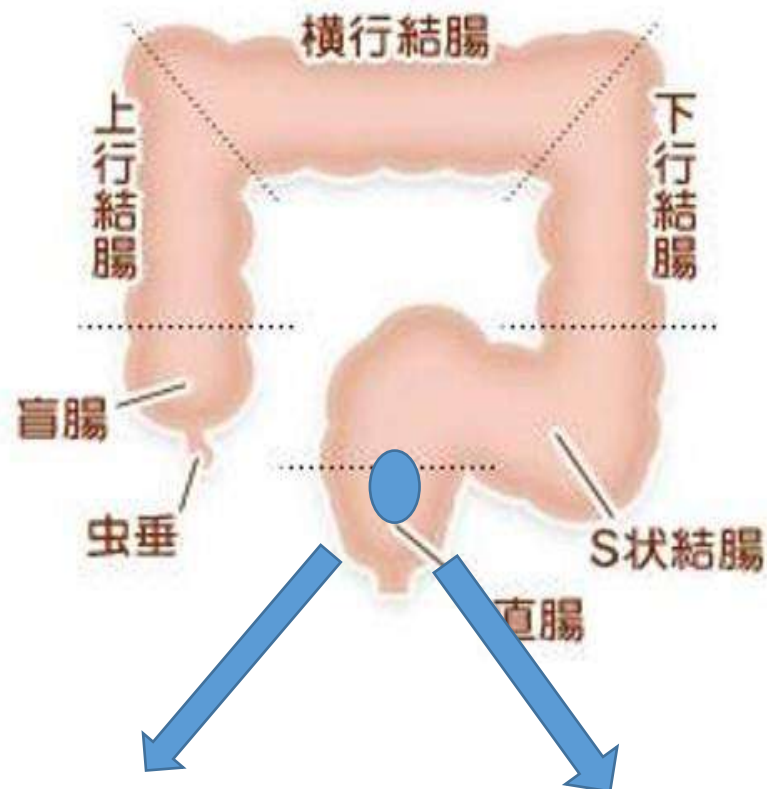
S 状結腸に、1.5m 大のポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、高異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 18 直腸の管状腺腫（低異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

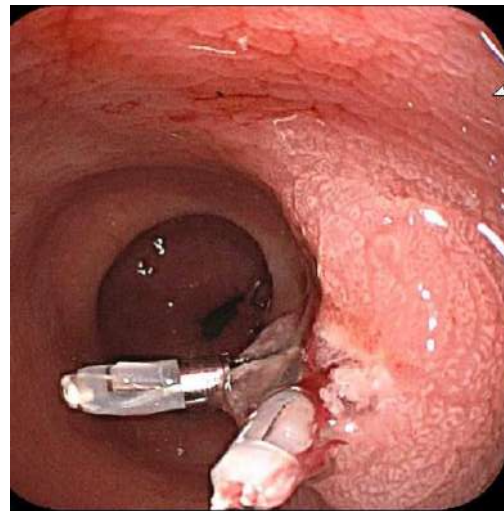
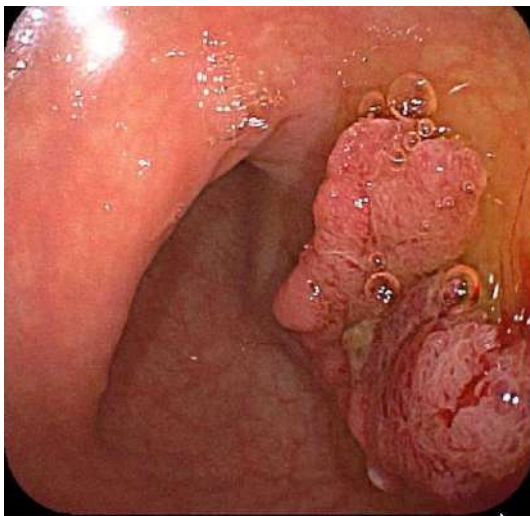
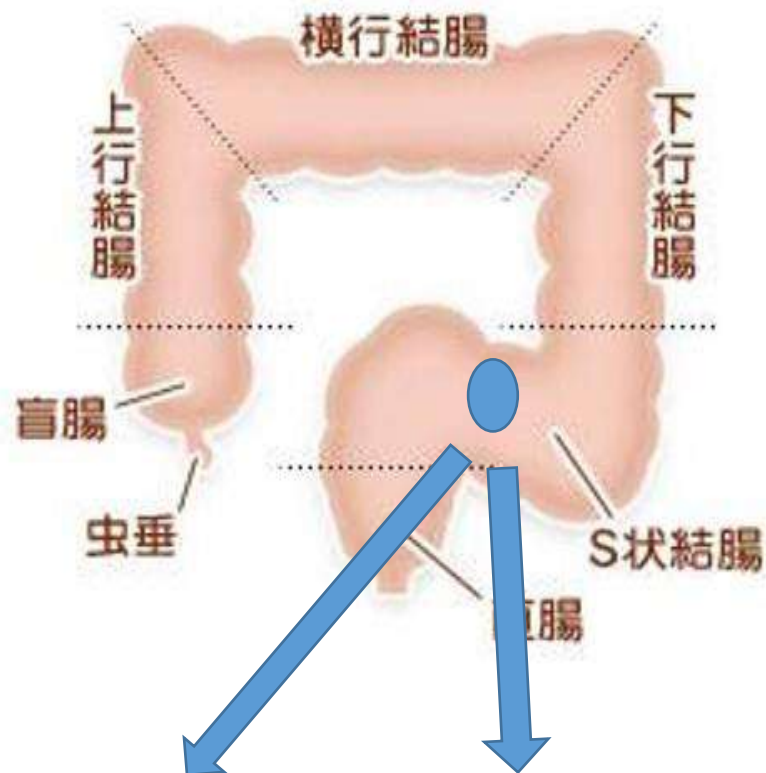
直腸に、7mm 大のポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、低異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 19 S 状結腸の管状絨毛腺腫（高異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

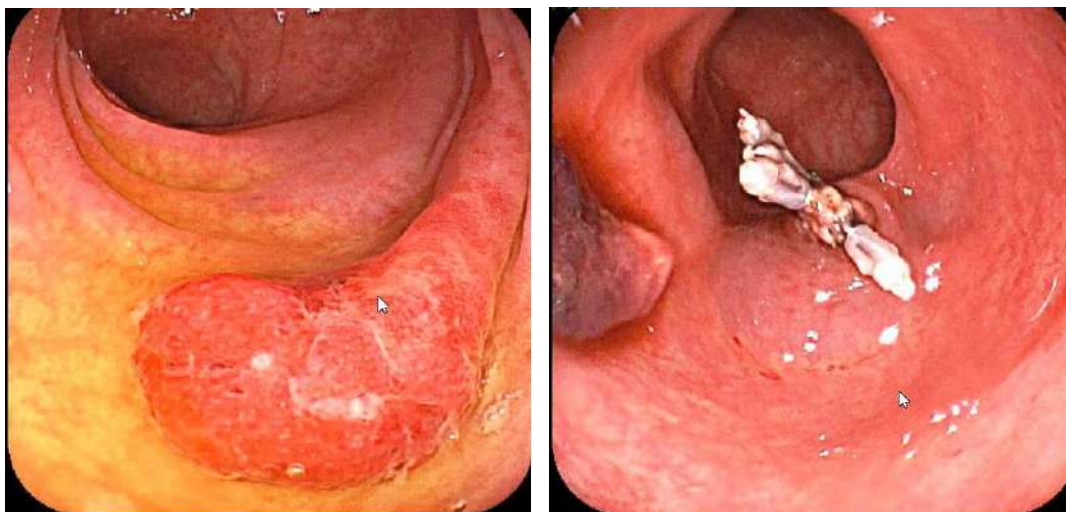
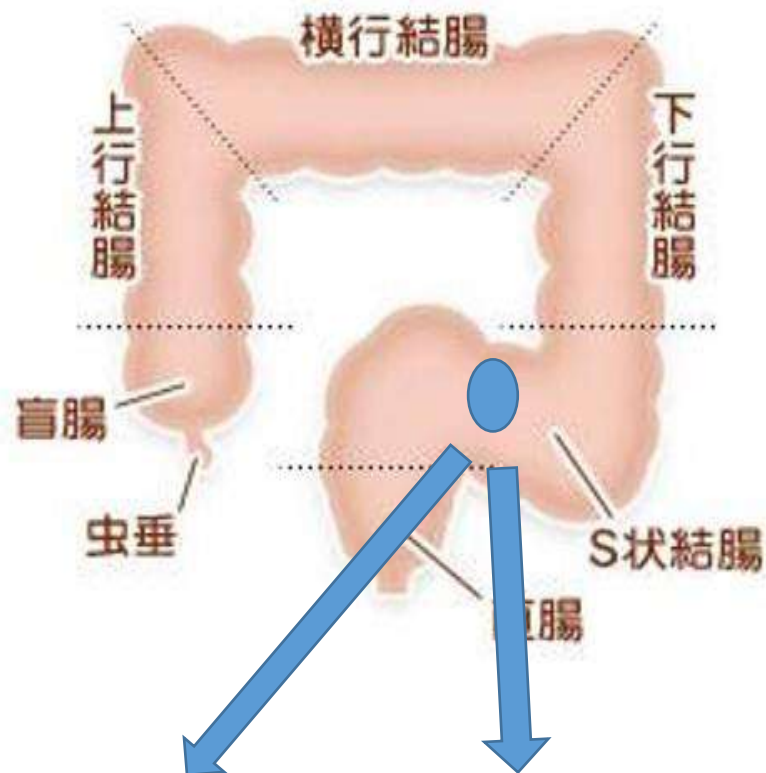
S 状結腸に、2cm 大の有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、高異型度の管状絨毛腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 20 S 状結腸の炎症性ポリープ

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

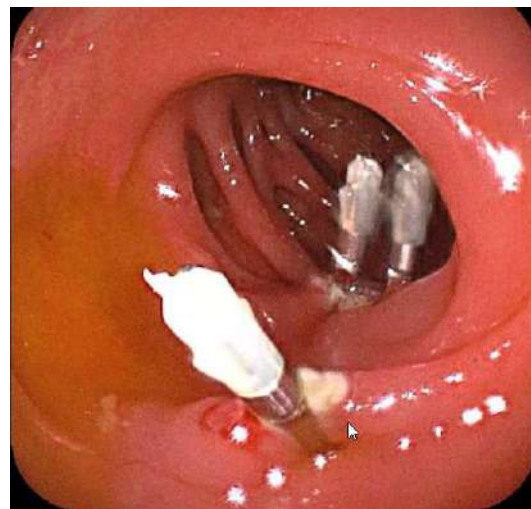
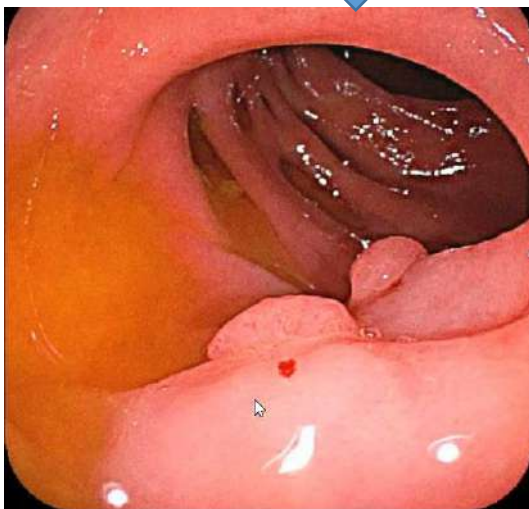
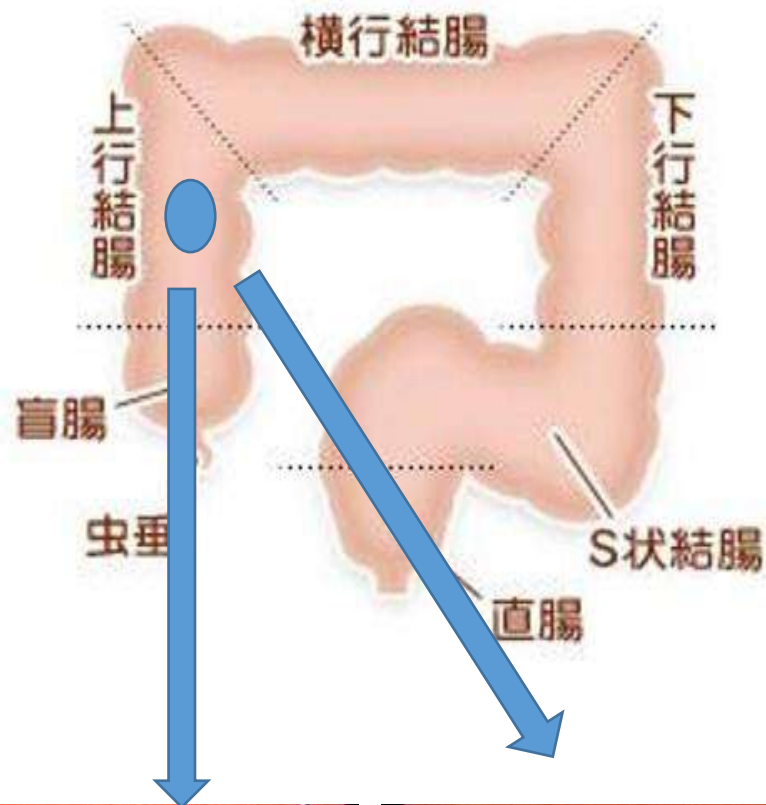
S 状結腸に、2cm 大の有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、炎症性ポリープでした。断端陰性で完治。



症例 21 上行結腸の管状絨毛腺腫（低異型度）

血便のため、大腸内視鏡検査を施行。

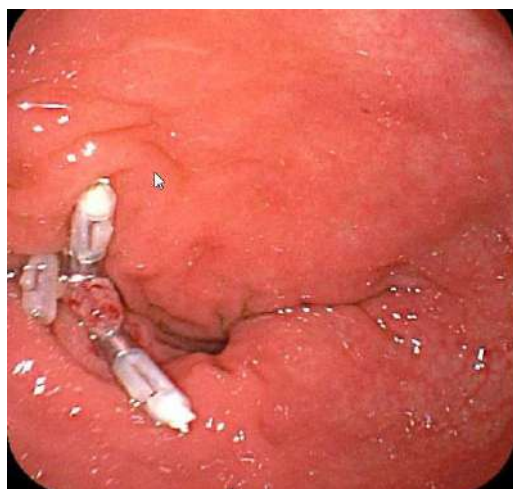
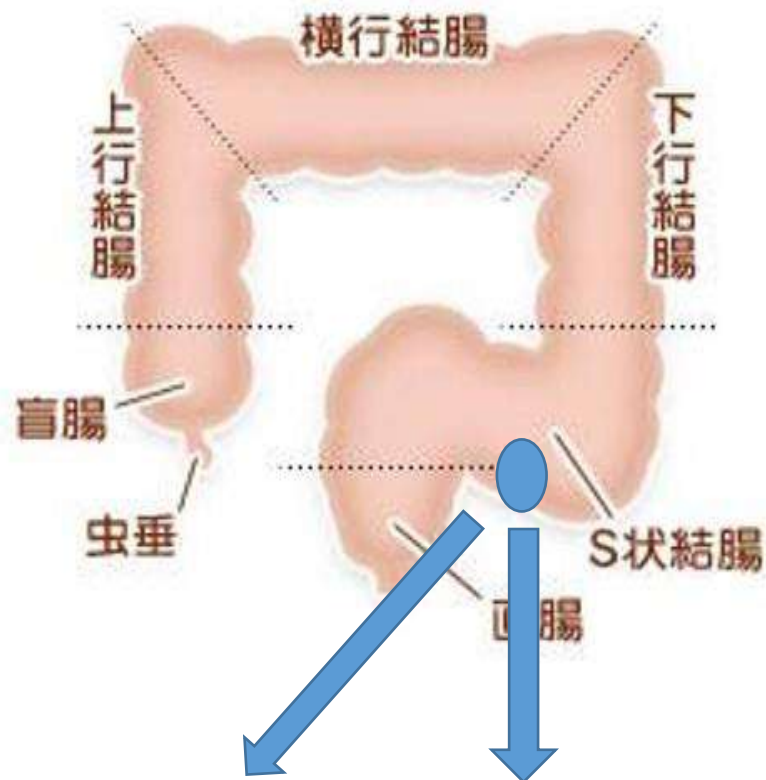
上行結腸に、5mm 大のポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、低異型度の管状絨毛腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 22 S状結腸の管状腺腫（低異型度）

健診で便潜血陽性のため、大腸内視鏡検査を施行。

S状結腸に、1cm大の有茎性ポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、低異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。



症例 23 S 状結腸の管状腺腫（低異型度）

血便のため、大腸内視鏡検査を施行。

S 状結腸に、1cm 大のポリープを認め、内視鏡的ポリープ切除を施行した。病理所見では、低異型度の管状腺腫でした。断端陰性で完治。

